

作成日：2012年11月01日

改訂日：2016年07月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：SBソフトシールプライマー
 会社名：ショーボンドマテリアル株式会社
 住所：埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担当部門：品質保証課
 電話番号：049(225)5611 FAX：049(225)5616
 緊急連絡先：品質保証課 電話番号：049(225)5611
 整理番号：SBソフトシールプライマー-01

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分2
健康に関する有害性	: 急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 急性毒性（吸入：ガス） 急性毒性（吸入：蒸気） 急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変位原生 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） 吸引製呼吸器有害性	区分5 区分外 分類できない 分類できない 分類できない 区分3 区分2B 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分1（呼吸器系） 区分3（麻醉作用） 分類できない 区分1
環境に対する有害性	: 水性環境急性有害性 水性環境慢性有害性	区分3 区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 引火性の高い液体及び蒸気
 飲み込むと有害のおそれ
 軽度の皮膚刺激
 眼刺激
 呼吸器系の障害
 麻醉作用（眠気やめまいのおそれ）
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
 水生生物に有害

長期的影響により水生生物に有害

- 注意書き
予 防 策 : 保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面 / 保護衣を着用すること。
取り扱いは良く手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
- 対 応 : 取り扱う前に、必ず「製品安全データシート」を読んで、注意して取り扱うこと。
: 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当を受けること。
: 目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
: 暴露した場合：医師に連絡すること。気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
- 保 管 : 容器を密閉し、換気のよい冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないよう管理された場所で保管すること。
- 廃 棄 : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化 審 法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質 57 条 2
酢酸エチル	2-726	141-78-6	35～45	該当しない	政令番号 177
メチルシクロヘキサン	3-2230	108-87-2	10～20	該当しない	政令番号 576
炭酸ジメチル	2-2853	616-38-6	15～25	該当しない	該当しない

4. 応急処置

- 本製品の注意事項 : 本製品は引火性液体であるため、火気に注意する。また、溶剤を含んでいるため、有機溶剤用の防毒マスク等を着用すること。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 安静にして直ちに医師の診察を受ける。口をそそぐこと。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 適切な保護具を着用する。
可燃性のものをすばやく周囲から取り除く
指定の消火器を使用すること。
火災の現場に容器があると破裂する恐れがあるので、消火活動には

十分に距離をとること。

消火剤 : ABCまたはBC型粉末消火器、二酸化炭素、泡消火剤
 使用してはならない消火剤 : 棒状の水
 消火を行う者の保護 : 保護眼鏡、保護手袋、防護衣、ゴム長靴等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護眼鏡等）を着用する。
 環境に対する注意事項 : 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
 除去方法 : 大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
 : 漏出した場所にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。少量の場合には、ウエス等で拭き取る。多量の場合には土壌等で拡散防止を計ってから、ポンプ等でドラム、タンク又はローリーに出来るだけ回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :
 技術的対策 : 不浸透性の手袋、保護眼鏡等の保護具を用意し、直接手や眼等人体に触れないようにする。
 換気のよい場所で扱う。
 周辺で火気、スパーク、高温物の使用、発生のないこと。
 作業終了後は、手洗い、うがいを十分に行う。
 保管 :
 適切な保管条件 : 直射日光を避け、冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。
 許容濃度 :
 管理濃度 : 酢酸エチル 400ppm (日本産業衛生学会 200ppm)
 メチルシクロヘキサン — (日本産業衛生学会 400ppm)
 許容濃度 : 情報なし。
 保護具 :
 呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク 送気マスク
 手の保護具 : 保護手袋
 目の保護具 : 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的および化学的性質

物理的状態、形状等 : 液体
 色 : 淡黄色透明
 臭い : 芳香臭
 pH : データなし
 密度(比重) : 0.96 (20°C)
 融点 : -84°C (酢酸エチルとして)
 127°C (メチルシクロヘキサンとして)
 沸点 : 77~101°C (酢酸エチル、メチルシクロヘキサン、炭酸ジメチルとして)
 引火点 : -4°C (酢酸エチルとして)
 14.5°C (炭酸ジメチル)
 自然発火性(発火点) : 427°C (酢酸エチルとして)

燃焼または爆発範囲：下限 1.2vol%、上限 12.9vol%
 (酢酸エチル、メチルシクロヘキサン、炭酸ジメチルとして)
 蒸気密度：3.0g/cm³ (酢酸エチルとして)
 溶解性：有機溶剤に可溶
 オクタノール／水分配係数：Log Pow=0.73 (酢酸エチルとして)
 分解温度：データなし

10. 安定性および反応性

安定性：通常取り扱い条件では安定
 危険有害反応可能性：引火性である
 避けるべき条件：火気、熱源を避ける
 混触危険物質：－
 危険有害な分解性生物：火災時の燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などの有害ガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性 経口：区分5
 成分情報：酢酸エチル LD50>5000mg/kg (区分外)
 メチルシクロヘキサン LD50>1200mg/kg (区分4)
 経皮：区分外
 吸入：分類できない
 皮膚腐食性・刺激性：区分3
 成分情報：酢酸エチル (区分外)
 メチルシクロヘキサン (区分3)
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分2B
 成分情報：酢酸エチル (区分2B)
 メチルシクロヘキサン (区分2B)。
 呼吸器感作性：分類できない
 皮膚感作性：分類できない
 生殖細胞変異原性：分類できない
 発がん性：分類できない
 生殖毒性：分類できない
 特定標的臓器毒性(単回暴露)：区分1 (呼吸器系)
 区分3 (麻酔作用)
 成分情報：酢酸エチル 呼吸器系 (区分1)、麻酔作用 (区分3)
 メチルシクロヘキサン 麻酔作用 (区分3)
 特定標的臓器毒性(反復暴露)：分類できない
 吸引性呼吸器有害性：区分1
 成分情報：メチルシクロヘキサン (区分1)

12. 環境影響情報

生環境急性有害性：区分3
 成分情報：酢酸エチル (区分外)
 メチルシクロヘキサン (区分3)
 水生環境慢性有害性：区分3
 成分情報：酢酸エチル (区分外)
 メチルシクロヘキサン (区分3)
 生態毒性：－
 残留性／分解性：情報なし
 生体蓄積性：情報なし
 土壌中の移動性：情報なし

オゾン層への有害性：情報なし

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物：都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。pHが12.5を超える廃アルカリは特別管理産業廃棄物に指定されており、収集・運搬・処分は、定められた基準に従って処理する。
- 汚染容器等：内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

- 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

- 陸上輸送：労働安全衛生法等に定められている運送方法による。
 海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。
 国連分類：クラス3
 国連番号：1133

1 5. 適用法令

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 消防法 | ：危険物第4類第1石油類 危険物等級II |
| 毒物及び劇物取締法 | ：該当しない |
| 労働安全衛生法 通知物質 57条2 (通知対象物) | ：酢酸エチル
メチルシクロヘキサン |
| 施行令第18条 名称を表示すべき有害物 | ：酢酸エチル |
| 有機溶剤中毒予防規則 | ：第2種有機溶剤 酢酸エチル |
| 化学物質管理促進法 | ：該当しない |

1 6. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：(日本接着剤工業会) 室内空気質汚染対策のための自主管理規定
 J A I A - 0 1 0 8 4 9 F☆☆☆☆

注意事項：本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS)：J I S Z 7 2 5 3 : 2 0 1 2)
- 2) 製品安全データシートの作成指針 平成18年5月(社団法人 日本化学工業協会)
- 3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 原材料/製品メーカー SDS